平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　神奈川県　　総務省

― 目次 ―

市町村・組合名	病院名	ページ
-	足柄上病院	2
-	汐見台病院	3
-	精神医療センター	4
-	がんセンター	5
-	循環器呼吸器病センター	6
-	こども医療センター	7
横浜市	市民病院	8
横浜市	みなと赤十字病院	9
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	10
川崎市	川崎病院	11
川崎市	井田病院	12
川崎市	多摩病院	13
横須賀市	市民病院	14
横須賀市	うわまち病院	15
平塚市	平塚市民病院	16
藤沢市	藤沢市民病院	17
小田原市	市立病院	18
茅ヶ崎市	市立病院	19
三浦市	市立病院	20
厚木市	市立病院	21
大和市	市立病院	22

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	足柄上病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	101,366	37.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	103,782			
1 経常収益	103,782			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	103,782			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	103,782			
2 経常費用	103,782			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.2
② 材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	103,782			
(うち支払利息)	103,782	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	5,184,207			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	汐見台病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	59.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	59.4
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	11.4

設立団体の状況		
人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	101,366	37.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,145			
1 経常収益	3,145			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,145			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,145			
2 経常費用	3,145			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.2
② 材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,145			
(うち支払利息)	3,145	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	114,720			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,337			
1 経常収益	2,337			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,337			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,337			
2 経常費用	2,337			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	94.3
② 材料費	-	-	24.0	8.8
(うち薬品費)	-	-	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.1
③ 減価償却費	-	-	9.2	12.6
④ 経費	-	-	23.2	33.3
(うち委託料)	-	-	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,337			
(うち支払利息)	2,337	-	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	106,362			
経常収支比率	100.0		98.0	100.2
医業収支比率	-		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	がんセンター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,847			
1 経常収益	4,847			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,847			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,847			
2 経常費用	4,847			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	55.2
② 材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.5
④ 経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,847			
(うち支払利息)	4,847	-	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	93,219			
経常収支比率	100.0		98.0	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	循環器呼吸器病センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	76,509			
1 経常収益	76,509			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	76,509			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	76,509			
2 経常費用	76,509			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.2
② 材料費	-	-	24.0	19.6
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	-	-	23.2	27.3
(うち委託料)	-	-	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	76,509			
(うち支払利息)	76,509	-	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	2,293,839			
経常収支比率	100.0		98.0	96.1
医業収支比率	-		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	
病院名	こども医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		9,126,213
決算規模 (千円)		1,960,355,329
標準財政規模 (千円)		1,286,648,570
財政力指数		0.90245
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.5
	将来負担比率 (%)	126.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	101,366	37.5

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	164,946			
1 経常収益	164,946			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	164,946			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	164,946			
2 経常費用	164,946			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	55.9	55.2
② 材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
③ 減価償却費	-	-	9.2	8.5
④ 経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	164,946			
(うち支払利息)	164,946	-	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	7,587,433			
経常収支比率	100.0		98.0	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	100.0		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	横浜市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	42,124 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地
診療科数	34	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	624	89.0	88.2	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	85.4	84.7	85.1
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.5	11.7

設立団体の状況

人口 (人)		3,724,844
決算規模 (千円)		1,682,028,520
標準財政規模 (千円)		936,031,148
財政力指数		0.97
経常収支比率 (%)		97.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.3
	将来負担比率 (%)	145.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	96.0
修正医業収支金額 (千円)	20,351,446

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,082,629	1,082,629
資本勘定繰入	684,863	822,944
計	1,767,492	1,905,573

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	163.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,163,163			
1 経常収益	22,163,163			
(1) 医業収益	20,529,874			
① 入院収益	14,068,716			
② 外来収益	5,755,893			
診療収入計	19,824,609			
③ その他医業収益	705,265			
(うち他会計負担金)	178,428			
(2) 医業外収益	1,633,289			
(うち国・都道府県補助金)	60,696			
(うち他会計補助・負担金)	904,201			
(うち長期前受金戻入)	407,358			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,829,426			
2 経常費用	21,906,223			
(1) 医業費用	21,198,950			
① 職員給与費	9,496,573	46.3	55.9	50.2
② 材料費	5,788,709	28.2	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,990,617	14.6	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,685,674	13.1	11.1	12.9
③ 減価償却費	988,673	4.8	9.2	8.3
④ 経費	4,866,161	23.7	23.2	20.7
(うち委託料)	1,806,987	8.8	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	52,990			
⑥ 資産減耗費	5,844			
(2) 医業外費用	707,273			
(うち支払利息)	28,721	0.1	1.7	1.5
(3) 特別損失	923,203			
損益 経常損益	256,940			
損益 純損益	-666,263			
累積欠損金	5,115,703			
経常収支比率	101.2		98.0	99.7
医業収支比率	96.8		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	5.3		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	96.2		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	74,029,754
1 固定資産	66,750,210
(1) 有形固定資産	65,699,567
(2) 無形固定資産	362,269
(3) 投資その他の資産	688,374
2 流動資産	7,279,544
(1) 現金及び預金	2,640,549
(2) 未収金及び未収収益	4,511,599
(3) 貸倒引当金 (△)	18,403
(4) 貯蔵品	189,761
3 繰延資産	-
負債合計	70,335,074
1 固定負債	56,763,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,244,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,518,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,042,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,340,075
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,028,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,686,951
(9) 前受金及び前受収益	2,124
3 繰延収益	4,529,735
(1) 長期前受金	15,128,339
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,598,604
資本合計	3,694,680
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-33,822,392
(1) 資本剰余金	8,036,863
(2) 利益剰余金	-41,859,255
負債・資本合計	74,029,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	横浜市
病院名	みなと赤十字病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	74,148 ㎡	指定病院の状況	救臨が　災地
診療科数	36	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	584	83.5	86.6	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	62.1	64.1	62.9
感染症	-	-	-	-
計	634	81.8	84.8	82.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.2	10.8	10.6

設立団体の状況

人口 (人)		3,724,844
決算規模 (千円)		1,682,028,520
標準財政規模 (千円)		936,031,148
財政力指数		0.97
経常収支比率 (%)		97.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.3
	将来負担比率 (%)	145.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	719,032	729,711
資本勘定繰入	1,241,318	1,466,439
計	1,960,350	2,196,150

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	163.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,626,762			
1 経常収益	2,626,762			
(1) 医業収益	62,593			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	62,593			
(うち他会計負担金)	62,593			
(2) 医業外収益	2,564,169			
(うち国・都道府県補助金)	32,229			
(うち他会計補助・負担金)	667,118			
(うち長期前受金戻入)	1,241,832			
(うち資本費繰入収益)	225,121			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,666,090			
2 経常費用	2,666,090			
(1) 医業費用	1,937,571			
① 職員給与費	-	-	55.9	50.2
② 材料費	-	-	24.0	27.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,555,800	2485.6	9.2	8.3
④ 経費	379,485	606.3	23.2	20.7
(うち委託料)	920	1.5	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	2,286			
(2) 医業外費用	728,519			
(うち支払利息)	607,548	970.6	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-39,328			
損益 純損益	-39,328			
累積欠損金	12,333,358			
経常収支比率	98.5		98.0	99.7
医業収支比率	3.2		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	27.8		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	1165.8		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	27.8		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	71.2		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	74,029,754
1 固定資産	66,750,210
(1) 有形固定資産	65,699,567
(2) 無形固定資産	362,269
(3) 投資その他の資産	688,374
2 流動資産	7,279,544
(1) 現金及び預金	2,640,549
(2) 未収金及び未収収益	4,511,599
(3) 貸倒引当金 (△)	18,403
(4) 貯蔵品	189,761
3 繰延資産	-
負債合計	70,335,074
1 固定負債	56,763,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,244,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,518,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,042,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,340,075
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,028,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,686,951
(9) 前受金及び前受収益	2,124
3 繰延収益	4,529,735
(1) 長期前受金	15,128,339
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,598,604
資本合計	3,694,680
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-33,822,392
(1) 資本剰余金	8,036,863
(2) 利益剰余金	-41,859,255
負債・資本合計	74,029,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	横浜市
病院名	脳卒中・神経脊椎センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド Ｉ 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	38,737 ㎡	指定病院の状況	救 臨
診療科数	10	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	300	77.6	81.5	82.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	77.6	81.5	82.0
平均在院日数（一般病床のみ）		30.9	31.1	31.5

設立団体の状況

人口 (人)	3,724,844
決算規模 (千円)	1,682,028,520
標準財政規模 (千円)	936,031,148
財政力指数	0.97
経常収支比率 (%)	97.9
健全化判断比率 実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 連結実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 実質公債費比率 (%)	13.3
健全化判断比率 将来負担比率 (%)	145.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	67.7
修正医業収支金額 (千円)	4,873,370

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,435,152			
1 経常収益	7,435,152			
(1) 医業収益	4,972,555			
① 入院収益	4,306,060			
② 外来収益	525,750			
診療収入計	4,831,810			
③ その他医業収益	140,745			
(うち他会計負担金)	99,185			
(2) 医業外収益	2,462,597			
(うち国・都道府県補助金)	637			
(うち他会計補助・負担金)	1,916,463			
(うち長期前受金戻入)	386,243			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,170,928			
2 経常費用	7,665,680			
(1) 医業費用	7,197,748			
① 職員給与費	3,656,944	73.5	55.9	56.9
② 材料費	815,918	16.4	24.0	24.2
(うち薬品費)	224,710	4.5	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	504,604	10.1	11.1	11.7
③ 減価償却費	659,605	13.3	9.2	9.5
④ 経費	2,052,308	41.3	23.2	21.8
(うち委託料)	857,868	17.3	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	10,045			
⑥ 資産減耗費	2,928			
(2) 医業外費用	467,932			
(うち支払利息)	283,976	5.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	505,248			
損益 経常損益	-230,528			
損益 純損益	-735,776			
累積欠損金	24,410,194			
経常収支比率	97.0		98.0	96.3
医業収支比率	69.1		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	40.5		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	70.7		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	74,029,754
1 固定資産	66,750,210
(1) 有形固定資産	65,699,567
(2) 無形固定資産	362,269
(3) 投資その他の資産	688,374
2 流動資産	7,279,544
(1) 現金及び預金	2,640,549
(2) 未収金及び未収収益	4,511,599
(3) 貸倒引当金 (△)	18,403
(4) 貯蔵品	189,761
3 繰延資産	-
負債合計	70,335,074
1 固定負債	56,763,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,244,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,518,496
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,042,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,340,075
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,028,761
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,686,951
(9) 前受金及び前受収益	2,124
3 繰延収益	4,529,735
(1) 長期前受金	15,128,339
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,598,604
資本合計	3,694,680
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-33,822,392
(1) 資本剰余金	8,036,863
(2) 利益剰余金	-41,859,255
負債・資本合計	74,029,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,015,648	2,015,648
資本勘定繰入	868,621	868,621
計	2,884,269	2,884,269

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	163.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	川崎市
病院名	川崎病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,890 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	44	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	663	77.1	72.3	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	52.6	60.7	59.1
感染症	12	-	-	-
計	713	74.5	70.5	73.9
平均在院日数（一般病床のみ）		12.6	11.6	12.5

設立団体の状況

人口 (人)		1,475,213
決算規模 (千円)		697,012,352
標準財政規模 (千円)		360,255,112
財政力指数		1.00
経常収支比率 (%)		100.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.9
	将来負担比率 (%)	121.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	87.5
修正医業収支金額 (千円)	16,509,915

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,981,340	3,005,887
資本勘定繰入	1,228,326	1,228,326
計	4,209,666	4,234,213

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	101.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,009,247			
1 経常収益	20,345,148			
(1) 医業収益	17,571,937			
① 入院収益	11,833,787			
② 外来収益	4,418,823			
診療収入計	16,252,610			
③ その他医業収益	1,319,327			
(うち他会計負担金)	1,062,022			
(2) 医業外収益	2,773,211			
(うち国・都道府県補助金)	34,394			
(うち他会計補助・負担金)	1,943,865			
(うち長期前受金戻入)	357,706			
(うち資本費繰入収益)	219,242			
(3) 特別利益	664,099			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,958,891			
2 経常費用	19,777,288			
(1) 医業費用	18,874,637			
① 職員給与費	8,199,527	46.7	55.9	50.2
② 材料費	3,925,247	22.3	24.0	27.7
(うち薬品費)	1,971,221	11.2	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,831,806	10.4	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,120,107	6.4	9.2	8.3
④ 経費	5,542,668	31.5	23.2	20.7
(うち委託料)	2,532,231	14.4	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	54,326			
⑥ 資産減耗費	32,762			
(2) 医業外費用	902,651			
(うち支払利息)	329,055	1.9	1.7	1.5
(3) 特別損失	181,603			
損益 経常損益	567,860			
損益 純損益	1,050,356			
累積欠損金	5,361,379			
経常収支比率	102.9		98.0	99.7
医業収支比率	93.1		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	87.7		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	55,566,831
1 固定資産	49,024,470
(1) 有形固定資産	49,020,443
(2) 無形固定資産	4,027
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,542,361
(1) 現金及び預金	2,334,782
(2) 未収金及び未収収益	4,178,149
(3) 貸倒引当金 (△)	101,369
(4) 貯蔵品	130,799
3 繰延資産	-
負債合計	65,142,139
1 固定負債	55,474,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,718,427
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,657,242
(7) リース債務	99,277
2 流動負債	8,313,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,632,747
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,251
(6) リース債務	18,115
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,689,503
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,353,695
(1) 長期前受金	11,360,690
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,006,995
資本合計	-9,575,308
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-25,401,061
(1) 資本剰余金	1,453,723
(2) 利益剰余金	-26,854,784
負債・資本合計	55,566,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	9,575,308
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	8,221,613

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	川崎市
病院名	井田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,071 ㎡	指定病院の状況	救臨が　輪
診療科数	37	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	343	81.9	77.9	76.2
療養	-	-	-	-
結核	40	55.5	43.7	45.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	79.2	74.3	73.0
平均在院日数（一般病床のみ）		14.5	13.4	12.9

設立団体の状況

人口 (人)		1,475,213
決算規模 (千円)		697,012,352
標準財政規模 (千円)		360,255,112
財政力指数		1.00
経常収支比率 (%)		100.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.9
	将来負担比率 (%)	121.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	74.3
修正医業収支金額 (千円)	7,606,271

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,536,996	1,547,916
資本勘定繰入	380,651	380,651
計	1,917,647	1,928,567

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	101.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,639,384			
1 経常収益	9,618,486			
(1) 医業収益	7,932,821			
① 入院収益	4,965,938			
② 外来収益	2,426,328			
診療収入計	7,392,266			
③ その他医業収益	540,555			
(うち他会計負担金)	326,550			
(2) 医業外収益	1,685,665			
(うち国・都道府県補助金)	11,859			
(うち他会計補助・負担金)	1,221,366			
(うち長期前受金戻入)	227,166			
(うち資本費繰入収益)	143,457			
(3) 特別利益	20,898			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,825,638			
2 経常費用	10,764,209			
(1) 医業費用	10,238,301			
① 職員給与費	4,416,654	55.7	55.9	56.9
② 材料費	1,768,874	22.3	24.0	24.2
(うち薬品費)	954,660	12.0	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	747,907	9.4	11.1	11.7
③ 減価償却費	1,090,232	13.7	9.2	9.5
④ 経費	2,882,231	36.3	23.2	21.8
(うち委託料)	1,261,340	15.9	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	20,840			
⑥ 資産減耗費	59,470			
(2) 医業外費用	525,908			
(うち支払利息)	249,699	3.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	61,429			
損益 経常損益	-1,145,723			
損益 純損益	-1,186,254			
累積欠損金	18,034,633			
経常収支比率	89.4		98.0	96.3
医業収支比率	77.5		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	16.1		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	75.0		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	55,566,831
1 固定資産	49,024,470
(1) 有形固定資産	49,020,443
(2) 無形固定資産	4,027
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,542,361
(1) 現金及び預金	2,334,782
(2) 未収金及び未収収益	4,178,149
(3) 貸倒引当金 (△)	101,369
(4) 貯蔵品	130,799
3 繰延資産	-
負債合計	65,142,139
1 固定負債	55,474,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,718,427
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,657,242
(7) リース債務	99,277
2 流動負債	8,313,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,632,747
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,251
(6) リース債務	18,115
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,689,503
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,353,695
(1) 長期前受金	11,360,690
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,006,995
資本合計	-9,575,308
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-25,401,061
(1) 資本剰余金	1,453,723
(2) 利益剰余金	-26,854,784
負債・資本合計	55,566,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	9,575,308
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	8,221,613

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	川崎市
病院名	多摩病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,620 ㎡	指定病院の状況	救臨　災地　輪
診療科数	32	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	376	82.9	79.2	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	82.9	79.2	81.0
平均在院日数（一般病床のみ）		10.3	10.6	10.8

設立団体の状況

人口 (人)		1,475,213
決算規模 (千円)		697,012,352
標準財政規模 (千円)		360,255,112
財政力指数		1.00
経常収支比率 (%)		100.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.9
	将来負担比率 (%)	121.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	44.4
修正医業収支金額 (千円)	667,086

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	784,592	784,592
資本勘定繰入	638,795	638,795
計	1,423,387	1,423,387

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	101.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,971,814			
1 経常収益	1,960,020			
(1) 医業収益	959,851			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	959,851			
(うち他会計負担金)	292,765			
(2) 医業外収益	1,000,169			
(うち国・都道府県補助金)	1,140			
(うち他会計補助・負担金)	491,827			
(うち長期前受金戻入)	505,850			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,794			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,854,167			
2 経常費用	1,854,052			
(1) 医業費用	1,501,775			
① 職員給与費	22,399	2.3	55.9	56.9
② 材料費	-	-	24.0	24.2
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.7
③ 減価償却費	761,118	79.3	9.2	9.5
④ 経費	684,793	71.3	23.2	21.8
(うち委託料)	49,141	5.1	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	33,465			
(2) 医業外費用	352,277			
(うち支払利息)	352,277	36.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	115			
損益 経常損益	105,968			
損益 純損益	117,647			
累積欠損金	3,458,772			
経常収支比率	105.7		98.0	96.3
医業収支比率	63.9		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	40.0		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	81.7		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	39.8		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	63.4		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	55,566,831
1 固定資産	49,024,470
(1) 有形固定資産	49,020,443
(2) 無形固定資産	4,027
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,542,361
(1) 現金及び預金	2,334,782
(2) 未収金及び未収収益	4,178,149
(3) 貸倒引当金 (△)	101,369
(4) 貯蔵品	130,799
3 繰延資産	-
負債合計	65,142,139
1 固定負債	55,474,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,718,427
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,657,242
(7) リース債務	99,277
2 流動負債	8,313,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,632,747
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819,251
(6) リース債務	18,115
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,689,503
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,353,695
(1) 長期前受金	11,360,690
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	10,006,995
資本合計	-9,575,308
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-25,401,061
(1) 資本剰余金	1,453,723
(2) 利益剰余金	-26,854,784
負債・資本合計	55,566,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	9,575,308
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	8,221,613

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	横須賀市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,943 ㎡	指定病院の状況	救臨　感　災地　輪
診療科数	29	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	476	54.5	48.4	47.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	482	53.9	47.8	47.0
平均在院日数（一般病床のみ）		14.2	13.2	13.7

設立団体の状況

人口 (人)		406,586
決算規模 (千円)		143,499,055
標準財政規模 (千円)		81,800,506
財政力指数		0.81
経常収支比率 (%)		98.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.3
	将来負担比率 (%)	45.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	2.7
修正医業収支金額 (千円)	20,520

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	708,155	632,000
資本勘定繰入	226,522	496,557
計	934,677	1,128,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	848.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	694,030			
1 経常収益	692,321			
(1) 医業収益	422,520			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	422,520			
(うち他会計負担金)	402,000			
(2) 医業外収益	269,801			
(うち国・都道府県補助金)	10,868			
(うち他会計補助・負担金)	230,000			
(うち長期前受金戻入)	14,192			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,709			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	816,711			
2 経常費用	806,817			
(1) 医業費用	759,095			
① 職員給与費	28,169	6.7	55.9	55.2
② 材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
③ 減価償却費	570,819	135.1	9.2	8.5
④ 経費	152,936	36.2	23.2	19.0
(うち委託料)	21,115	5.0	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	7,171			
(2) 医業外費用	47,722			
(うち支払利息)	26,068	6.2	1.7	1.6
(3) 特別損失	9,894			
損益 経常損益	-114,496			
損益 純損益	-122,681			
累積欠損金	7,129,217			
経常収支比率	85.8		98.0	98.4
医業収支比率	55.7		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	91.3		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	149.6		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	91.1		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	7.5		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	16,160,092
1 固定資産	12,904,130
(1) 有形固定資産	12,900,449
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,255,962
(1) 現金及び預金	3,208,484
(2) 未収金及び未収収益	51,064
(3) 貸倒引当金 (△)	6,225
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,055,436
1 固定負債	4,562,429
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,509,832
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	52,597
(7) リース債務	-
2 流動負債	739,915
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	690,304
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,136
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,242
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	753,092
(1) 長期前受金	1,899,698
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,146,606
資本合計	10,104,656
1 資本金	12,007,956
2 剰余金	-1,903,300
(1) 資本剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-5,964,927
負債・資本合計	16,160,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	横須賀市
病院名	うわまち病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,514 ㎡	指定病院の状況	救臨　地　輪
診療科数	28	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	367	83.3	84.1	85.3
療養	50	29.3	79.6	93.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	76.9	83.5	86.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.3	11.3	10.7

設立団体の状況

人口 (人)		406,586
決算規模 (千円)		143,499,055
標準財政規模 (千円)		81,800,506
財政力指数		0.81
経常収支比率 (%)		98.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.3
	将来負担比率 (%)	45.5

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	4.4
修正医業収支金額 (千円)	24,183

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	437,534	382,000
資本勘定繰入	284,055	209,000
計	721,589	591,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	848.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	594,794			
1 経常収益	594,794			
(1) 医業収益	280,183			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	280,183			
(うち他会計負担金)	256,000			
(2) 医業外収益	314,611			
(うち国・都道府県補助金)	9,949			
(うち他会計補助・負担金)	126,000			
(うち長期前受金戻入)	63,474			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	584,500			
2 経常費用	584,500			
(1) 医業費用	552,463			
① 職員給与費	28,169	10.1	55.9	55.2
② 材料費	-	-	24.0	25.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
③ 減価償却費	372,984	133.1	9.2	8.5
④ 経費	146,957	52.5	23.2	19.0
(うち委託料)	32,186	11.5	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	4,353			
(2) 医業外費用	32,037			
(うち支払利息)	23,850	8.5	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	10,294			
損益 純損益	10,294			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.8		98.0	98.4
医業収支比率	50.7		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	64.2		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	136.3		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	64.2		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	36.4		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	16,160,092
1 固定資産	12,904,130
(1) 有形固定資産	12,900,449
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,255,962
(1) 現金及び預金	3,208,484
(2) 未収金及び未収収益	51,064
(3) 貸倒引当金 (△)	6,225
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,055,436
1 固定負債	4,562,429
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,509,832
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	52,597
(7) リース債務	-
2 流動負債	739,915
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	690,304
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,136
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,242
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	753,092
(1) 長期前受金	1,899,698
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,146,606
資本合計	10,104,656
1 資本金	12,007,956
2 剰余金	-1,903,300
(1) 資本剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-5,964,927
負債・資本合計	16,160,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	平塚市
病院名	平塚市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,719 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	29	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	410	79.9	86.2	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	78.8	84.9	86.9
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.9	13.1

設立団体の状況

人口 (人)		258,227
決算規模 (千円)		82,315,501
標準財政規模 (千円)		48,777,069
財政力指数		0.97
経常収支比率 (%)		94.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.4
	将来負担比率 (%)	27.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	83.1
修正医業収支金額 (千円)	10,624,033

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,201,107	1,170,833
資本勘定繰入	813,437	263,215
計	2,014,544	1,434,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	1,716,823	15.2

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	51.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,631,932			
1 経常収益	12,482,475			
(1) 医業収益	10,955,308			
① 入院収益	7,591,568			
② 外来収益	2,752,784			
診療収入計	10,344,352			
③ その他医業収益	610,956			
(うち他会計負担金)	331,275			
(2) 医業外収益	1,527,167			
(うち国・都道府県補助金)	22,767			
(うち他会計補助・負担金)	839,558			
(うち長期前受金戻入)	352,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	149,457			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,494,419			
2 経常費用	13,345,126			
(1) 医業費用	12,786,022			
① 職員給与費	5,768,874	52.7	55.9	55.2
② 材料費	2,124,551	19.4	24.0	25.7
(うち薬品費)	941,927	8.6	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,182,624	10.8	11.1	12.3
③ 減価償却費	953,737	8.7	9.2	8.5
④ 経費	3,257,923	29.7	23.2	19.0
(うち委託料)	1,352,658	12.3	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	27,465			
⑥ 資産減耗費	653,472			
(2) 医業外費用	559,104			
(うち支払利息)	136,204	1.2	1.7	1.6
(3) 特別損失	149,293			
損益 経常損益	-862,651			
損益 純損益	-862,487			
累積欠損金	5,613,612			
経常収支比率	93.5		98.0	98.4
医業収支比率	85.7		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	84.8		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	22,419,884
1 固定資産	18,700,425
(1) 有形固定資産	16,743,607
(2) 無形固定資産	774,979
(3) 投資その他の資産	1,181,839
2 流動資産	3,719,459
(1) 現金及び預金	1,323,601
(2) 未収金及び未収収益	2,286,203
(3) 貸倒引当金 (△)	95,887
(4) 貯蔵品	46,457
3 繰延資産	-
負債合計	21,632,473
1 固定負債	18,010,311
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,566,054
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,000,000
(6) 引当金	2,078,505
(7) リース債務	365,752
2 流動負債	2,431,279
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	593,535
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	374,736
(6) リース債務	113,714
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,333,546
(9) 前受金及び前受収益	1,772
3 繰延収益	1,190,883
(1) 長期前受金	2,277,416
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,086,533
資本合計	787,411
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-5,412,181
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-5,412,181
負債・資本合計	22,419,884
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	藤沢市
病院名	藤沢市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	57,646 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地
診療科数	34	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	530	90.1	87.5	87.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	536	89.1	86.6	86.6
平均在院日数（一般病床のみ）		10.8	11.3	11.3

設立団体の状況

人口 (人)		423,894
決算規模 (千円)		152,989,934
標準財政規模 (千円)		82,124,037
財政力指数		1.05
経常収支比率 (%)		89.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	1.2
	将来負担比率 (%)	44.9

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	94.7
修正医業収支金額 (千円)	17,360,019

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,519,802	1,318,557
資本勘定繰入	-	-
計	1,519,802	1,318,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	17.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,021,916			
1 経常収益	18,889,061			
(1) 医業収益	17,735,440			
① 入院収益	11,718,048			
② 外来収益	5,120,460			
診療収入計	16,838,508			
③ その他医業収益	896,932			
(うち他会計負担金)	375,421			
(2) 医業外収益	1,153,621			
(うち国・都道府県補助金)	87,416			
(うち他会計補助・負担金)	943,136			
(うち長期前受金戻入)	22,559			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	132,855			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,155,711			
2 経常費用	19,120,089			
(1) 医業費用	18,340,630			
① 職員給与費	8,519,982	48.0	55.9	50.2
② 材料費	4,683,646	26.4	24.0	27.7
(うち薬品費)	2,079,772	11.7	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,471,425	13.9	11.1	12.9
③ 減価償却費	1,268,987	7.2	9.2	8.3
④ 経費	3,803,835	21.4	23.2	20.7
(うち委託料)	2,036,541	11.5	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	41,709			
⑥ 資産減耗費	22,471			
(2) 医業外費用	779,459			
(うち支払利息)	107,169	0.6	1.7	1.5
(3) 特別損失	1,035,622			
損益 経常損益	-231,028			
損益 純損益	-1,133,795			
累積欠損金	3,043,730			
経常収支比率	98.8		98.0	99.7
医業収支比率	96.7		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	91.9		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	23,513,515
1 固定資産	16,183,031
(1) 有形固定資産	15,229,548
(2) 無形固定資産	458,587
(3) 投資その他の資産	494,896
2 流動資産	7,330,484
(1) 現金及び預金	4,248,456
(2) 未収金及び未収収益	3,059,268
(3) 貸倒引当金 (△)	24,854
(4) 貯蔵品	37,514
3 繰延資産	-
負債合計	16,925,348
1 固定負債	14,110,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,083,536
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,878,818
(7) リース債務	148,319
2 流動負債	2,308,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	353,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	496,671
(6) リース債務	61,054
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,303,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	506,603
(1) 長期前受金	822,581
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	315,978
資本合計	6,588,167
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-2,987,723
(1) 資本剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-3,043,730
負債・資本合計	23,513,515
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	小田原市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,393 ㎡	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
診療科数	26	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	417	82.6	82.0	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	82.6	82.0	78.4
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.8	11.6

設立団体の状況

人口 (人)		194,086
決算規模 (千円)		67,715,231
標準財政規模 (千円)		37,945,386
財政力指数		0.97
経常収支比率 (%)		90.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.4
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	93.6
修正医業収支金額 (千円)	11,352,728

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,642,633	1,450,000
資本勘定繰入	440,228	-
計	2,082,861	1,450,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,942,134			
1 経常収益	12,942,134			
(1) 医業収益	11,595,529			
① 入院収益	8,068,067			
② 外来収益	3,159,541			
診療収入計	11,227,608			
③ その他医業収益	367,921			
(うち他会計負担金)	242,801			
(2) 医業外収益	1,346,605			
(うち国・都道府県補助金)	52,227			
(うち他会計補助・負担金)	1,207,199			
(うち長期前受金戻入)	10,732			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,707,469			
2 経常費用	12,579,209			
(1) 医業費用	12,126,496			
① 職員給与費	5,814,370	50.1	55.9	55.2
② 材料費	2,814,294	24.3	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,432,148	12.4	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,381,387	11.9	11.1	12.3
③ 減価償却費	729,713	6.3	9.2	8.5
④ 経費	2,727,022	23.5	23.2	19.0
(うち委託料)	1,109,206	9.6	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	30,029			
⑥ 資産減耗費	11,068			
(2) 医業外費用	452,713			
(うち支払利息)	15,785	0.1	1.7	1.6
(3) 特別損失	128,260			
損益 経常損益	362,925			
損益 純損益	234,665			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.9		98.0	98.4
医業収支比率	95.6		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	91.4		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	10,087,372
1 固定資産	5,939,733
(1) 有形固定資産	5,732,957
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	206,776
2 流動資産	4,147,639
(1) 現金及び預金	2,042,206
(2) 未収金及び未収収益	2,097,634
(3) 貸倒引当金 (△)	15,822
(4) 貯蔵品	23,621
3 繰延資産	-
負債合計	3,729,634
1 固定負債	1,825,772
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	622,389
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	793,970
(7) リース債務	409,413
2 流動負債	1,769,636
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,085
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	332,575
(6) リース債務	228,473
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	912,362
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	134,226
(1) 長期前受金	503,299
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	369,073
資本合計	6,357,738
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	1,485,075
(1) 資本剰余金	176,813
(2) 利益剰余金	1,308,262
負債・資本合計	10,087,372
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	茅ヶ崎市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,444 ㎡	指定病院の状況	救臨　災地
診療科数	26	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	401	75.2	70.9	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	75.2	70.9	74.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.5	11.7

設立団体の状況

人口 (人)		239,348
決算規模 (千円)		72,283,128
標準財政規模 (千円)		41,548,339
財政力指数		0.95
経常収支比率 (%)		97.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	0.5
	将来負担比率 (%)	34.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	83.7
修正医業収支金額 (千円)	9,230,280

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	705,127	719,127
資本勘定繰入	622,656	394,873
計	1,327,783	1,114,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	51.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,595,981			
1 経常収益	10,299,993			
(1) 医業収益	9,602,561			
① 入院収益	6,024,728			
② 外来収益	2,905,298			
診療収入計	8,930,026			
③ その他医業収益	672,535			
(うち他会計負担金)	372,281			
(2) 医業外収益	697,432			
(うち国・都道府県補助金)	18,309			
(うち他会計補助・負担金)	346,846			
(うち長期前受金戻入)	257,667			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	295,988			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,595,588			
2 経常費用	11,541,297			
(1) 医業費用	11,023,529			
① 職員給与費	5,883,329	61.3	55.9	55.2
② 材料費	2,159,957	22.5	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,076,446	11.2	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,015,284	10.6	11.1	12.3
③ 減価償却費	904,914	9.4	9.2	8.5
④ 経費	2,039,386	21.2	23.2	19.0
(うち委託料)	1,149,955	12.0	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	28,424			
⑥ 資産減耗費	7,519			
(2) 医業外費用	517,768			
(うち支払利息)	146,052	1.5	1.7	1.6
(3) 特別損失	54,291			
損益 経常損益	-1,241,304			
損益 純損益	-999,607			
累積欠損金	4,918,265			
経常収支比率	89.2		98.0	98.4
医業収支比率	87.1		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	83.0		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	15,151,566
1 固定資産	10,533,244
(1) 有形固定資産	9,893,545
(2) 無形固定資産	461,002
(3) 投資その他の資産	178,697
2 流動資産	4,618,322
(1) 現金及び預金	2,968,644
(2) 未収金及び未収収益	1,591,519
(3) 貸倒引当金 (△)	91,074
(4) 貯蔵品	82,464
3 繰延資産	-
負債合計	12,907,528
1 固定負債	10,396,130
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,201,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,863,799
(7) リース債務	330,870
2 流動負債	2,047,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	601,968
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	347,878
(6) リース債務	129,337
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	925,498
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	463,698
(1) 長期前受金	4,972,075
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	4,508,377
資本合計	2,244,038
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-3,139,074
(1) 資本剰余金	1,779,191
(2) 利益剰余金	-4,918,265
負債・資本合計	15,151,566
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	三浦市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,393 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	13	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	136	83.2	81.6	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	83.2	81.6	88.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	14.6	14.4

設立団体の状況

人口 (人)		45,289
決算規模 (千円)		16,409,123
標準財政規模 (千円)		9,805,522
財政力指数		0.63
経常収支比率 (%)		103.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	17.5
	将来負担比率 (%)	166.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	88.5
修正医業収支金額 (千円)	2,248,671

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,154	242,386
資本勘定繰入	141,803	148,823
計	380,957	391,209

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	36.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,540,990			
１ 経常収益	2,540,990			
（1）医業収益	2,404,503			
① 入院収益	1,483,283			
② 外来収益	620,026			
診療収入計	2,103,309			
③ その他医業収益	301,194			
（うち他会計負担金）	155,832			
（2）医業外収益	136,487			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	86,554			
（うち長期前受金戻入）	20,420			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,677,098			
２ 経常費用	2,669,001			
（1）医業費用	2,539,885			
① 職員給与費	1,308,534	54.4	55.9	59.8
② 材料費	317,842	13.2	24.0	17.7
（うち薬品費）	166,498	6.9	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	150,381	6.3	11.1	8.0
③ 減価償却費	190,169	7.9	9.2	10.4
④ 経費	692,753	28.8	23.2	31.2
（うち委託料）	282,106	11.7	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	26,022			
⑥ 資産減耗費	4,565			
（2）医業外費用	129,116			
（うち支払利息）	44,999	1.9	1.7	1.8
（3）特別損失	8,097			
損益 経常損益	-128,011			
損益 純損益	-136,108			
累積欠損金	877,480			
経常収支比率	95.2		98.0	96.3
医業収支比率	94.7		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	86.1		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,773,198
１ 固定資産	2,810,292
（1）有形固定資産	2,791,789
（2）無形固定資産	443
（3）投資その他の資産	18,060
２ 流動資産	962,906
（1）現金及び預金	352,156
（2）未収金及び未収収益	606,362
（3）貸倒引当金（△）	8,545
（4）貯蔵品	10,213
３ 繰延資産	-
負債合計	3,003,848
１ 固定負債	2,328,600
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,217,466
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	111,134
（7）リース債務	-
２ 流動負債	545,704
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	260,867
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	90,132
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	174,281
（9）前受金及び前受収益	4,272
３ 繰延収益	129,544
（1）長期前受金	347,645
（2）長期前受金収益化累計額（△）	218,101
資本合計	769,350
１ 資本金	1,646,830
２ 剰余金	-877,480
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-877,480
負債・資本合計	3,773,198
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	厚木市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,585 ㎡	指定病院の状況	救臨　感　災地
診療科数	27	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	341	78.3	76.8	80.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	347	77.0	76.1	79.1
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.2	10.1

設立団体の状況

人口 (人)		225,714
決算規模 (千円)		85,320,049
標準財政規模 (千円)		45,269,402
財政力指数		1.15
経常収支比率 (%)		84.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.6
	将来負担比率 (%)	48.8

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	79.9
修正医業収支金額 (千円)	8,150,523

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,706,785	1,072,308
資本勘定繰入	338,667	387,787
計	2,045,452	1,460,095

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	63.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,628,338			
1 経常収益	9,534,133			
(1) 医業収益	8,984,871			
① 入院収益	5,567,715			
② 外来収益	2,385,193			
診療収入計	7,952,908			
③ その他医業収益	1,031,963			
(うち他会計負担金)	834,348			
(2) 医業外収益	549,262			
(うち国・都道府県補助金)	29,214			
(うち他会計補助・負担金)	237,960			
(うち長期前受金戻入)	232,340			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	94,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,133,801			
2 経常費用	10,618,999			
(1) 医業費用	10,196,534			
① 職員給与費	4,230,103	47.1	55.9	56.9
② 材料費	2,000,895	22.3	24.0	24.2
(うち薬品費)	956,967	10.7	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,042,936	11.6	11.1	11.7
③ 減価償却費	1,163,480	12.9	9.2	9.5
④ 経費	2,779,482	30.9	23.2	21.8
(うち委託料)	1,252,415	13.9	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	20,217			
⑥ 資産減耗費	2,357			
(2) 医業外費用	422,465			
(うち支払利息)	115,675	1.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	514,802			
損益 経常損益	-1,084,866			
損益 純損益	-1,505,463			
累積欠損金	5,714,030			
経常収支比率	89.8		98.0	96.3
医業収支比率	88.1		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	79.7		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	21,727,206
1 固定資産	20,044,090
(1) 有形固定資産	18,835,833
(2) 無形固定資産	98,365
(3) 投資その他の資産	1,109,892
2 流動資産	1,683,116
(1) 現金及び預金	303,974
(2) 未収金及び未収収益	1,348,437
(3) 貸倒引当金 (△)	2,378
(4) 貯蔵品	33,042
3 繰延資産	-
負債合計	22,344,255
1 固定負債	19,524,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,342,494
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,313,853
(6) 引当金	760,486
(7) リース債務	107,583
2 流動負債	2,217,358
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	883,390
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	33,147
(5) 引当金	309,045
(6) リース債務	58,245
(7) 一時借入金	180,000
(8) 未払金及び未払費用	744,173
(9) 前受金及び前受収益	2,940
3 繰延収益	602,481
(1) 長期前受金	1,611,314
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,008,833
資本合計	-617,049
1 資本金	1,734,683
2 剰余金	-2,351,732
(1) 資本剰余金	3,300,298
(2) 利益剰余金	-5,652,030
負債・資本合計	21,727,206
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	617,049
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	14,568

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	神奈川県
市町村・組合名	大和市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 未 訓 ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,111 ㎡	指定病院の状況	救 臨 が 災 輪
診療科数	30	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	403	70.9	74.3	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	70.9	74.3	80.5
平均在院日数（一般病床のみ）		10.3	11.0	11.4

設立団体の状況

人口 (人)		232,922
決算規模 (千円)		73,172,187
標準財政規模 (千円)		41,345,457
財政力指数		0.97
経常収支比率 (%)		97.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	0.7
	将来負担比率 (%)	28.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	85.1
修正医業収支金額 (千円)	9,496,827

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,354,555	1,371,970
資本勘定繰入	456,874	-
計	1,811,429	1,371,970

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	71.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,161,693			
1 経常収益	11,161,396			
(1) 医業収益	9,861,179			
① 入院収益	5,844,885			
② 外来収益	3,278,364			
診療収入計	9,123,249			
③ その他医業収益	737,930			
(うち他会計負担金)	364,352			
(2) 医業外収益	1,300,217			
(うち国・都道府県補助金)	17,689			
(うち他会計補助・負担金)	1,007,618			
(うち長期前受金戻入)	163,919			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	297			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,766,175			
2 経常費用	11,704,363			
(1) 医業費用	11,155,828			
① 職員給与費	5,293,614	53.7	55.9	55.2
② 材料費	2,490,032	25.3	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,249,343	12.7	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,158,108	11.7	11.1	12.3
③ 減価償却費	607,273	6.2	9.2	8.5
④ 経費	2,739,893	27.8	23.2	19.0
(うち委託料)	917,585	9.3	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	19,821			
⑥ 資産減耗費	5,195			
(2) 医業外費用	548,535			
(うち支払利息)	139,703	1.4	1.7	1.6
(3) 特別損失	61,812			
損益 経常損益	-542,967			
損益 純損益	-604,482			
累積欠損金	7,084,016			
経常収支比率	95.4		98.0	98.4
医業収支比率	88.4		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.3		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	12.3		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	83.6		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	10,614,250
1 固定資産	8,337,188
(1) 有形固定資産	7,871,565
(2) 無形固定資産	243,642
(3) 投資その他の資産	221,981
2 流動資産	2,277,062
(1) 現金及び預金	653,199
(2) 未収金及び未収収益	1,611,014
(3) 貸倒引当金 (△)	7,135
(4) 貯蔵品	19,897
3 繰延資産	-
負債合計	9,089,447
1 固定負債	4,974,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,376,317
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,598,265
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,024,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	743,257
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	350,448
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	930,306
(9) 前受金及び前受収益	237
3 繰延収益	2,090,117
(1) 長期前受金	6,173,201
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	4,083,084
資本合計	1,524,803
1 資本金	3,836,194
2 剰余金	-2,311,391
(1) 資本剰余金	4,772,625
(2) 利益剰余金	-7,084,016
負債・資本合計	10,614,250
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。